

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

114

避難場所整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
取組方針	2	避難体制及び避難所運営体制の構築

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	総合防災費		
	大事業	総合防災事業		
	中事業	避難場所整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域防災計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	総合防災課	南方 伸哉 435-1199
事業実施の根拠法令			関連課	教育施設課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	避難場所及び避難所を指定し、必要な環境整備を行うことで、災害時に市民が円滑に避難できるように促すことを目的とする。		災害時において、市民が円滑に避難することができるよう、避難場所及び避難所を指定し、防災標識等の維持管理、避難所運営にかかる物品購入や人員配置等、必要な環境整備を行う。			
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		①避難標識の点検 ②避難標識の修繕 ③震度感知式鍵ボックスの設置	避難場所指定及び避難誘導標識、避難誘導灯を設置及び維持管理を行う。	避難場所指定及び避難誘導標識、避難誘導灯を設置及び維持管理を行う。	避難場所等指定及び防災標識等の維持管理、避難所運営にかかる物品購入、人員配置等を行う。	避難場所等指定及び防災標識等の維持管理、避難所運営にかかる物品購入、人員配置等を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,833	2,952	895	844	789	8,143	1,091	0	1,091	0	
伸び率(%)	△24.8%	△1.9%	△81.5%	△71.4%	△11.8%	864.8%	38.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	15,984	15,505	16,350	14,900	13,934	13,377	21,816	0	21,816	0
	正規職員以外	1,415	1,148	1,091	1,091	166	166	219	0	219	0
	小計	17,399	16,653	17,441	15,991	14,100	13,543	22,035	0	22,035	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	7,670	0	0	0	0	
県支出金	1,895	1,215	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,938	1,737	895	844	789	473	1,091	0	1,091	0	
所要人数(人)	正規職員	2.00	1.94	2.03	1.85	1.75	1.68	2.74	0.00	2.74	0.00
	正規職員以外	0.57	0.51	0.47	0.47	0.09	0.09	0.24	0.00	0.24	0.00
主な予算内訳	消耗品費701千円 所々修繕料390千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
所々修繕数		件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	2	2	3		
			達成度(%)	200%	200%	300%	%	%
維持管理不備対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	既存の施設について整備した分の維持管理を行うとともに、新たに避難所等の指定を受けた施設には、防災標識等を設置するようにしている。
見直し・改善内容	円滑かつ安全な避難を確保するため、防災標識等の維持管理を行うとともに、避難所運営において必要となる物品等の整備について検討を図る。